

国際政治研究の先端 14

日本国際政治学会編

冷戦の変容と日米関係 一九七三—一九七五年……………長	史 隆
一九三〇年ハーグ国際法典編纂会議における	
「妻の国籍」問題と日本……………高	橋 力 也
ベトナム戦争をめぐる米比関係……………玉	置 敦 彦
総合安全保障の受容……………山	口 航 多
中華民国の「アジア反共同盟」構想……………米	
「日米防衛協力のための指針」策定以前における	
日米防衛協力の実態……………板	山 真 弓
「防衛計画の大綱」における基盤的防衛力構想の	
採用 一九七四—一九七六年……………真	田 尚 剛
<hr/>	
〈書評論文〉	
国際関係史の過去と現在……………五十	嵐 元 道
増加する「指標」とグローバル・ガバナンス……………内	記 香 子
「アラブの春」の比較政治学……………今	井 真 士
<hr/>	
〈書 評〉	
川崎剛著	
『社会科学としての日本外交研究』……………佐	藤 洋一郎
武田悠著	
『「経済大国」日本の対米協調』……………楠	綾 子